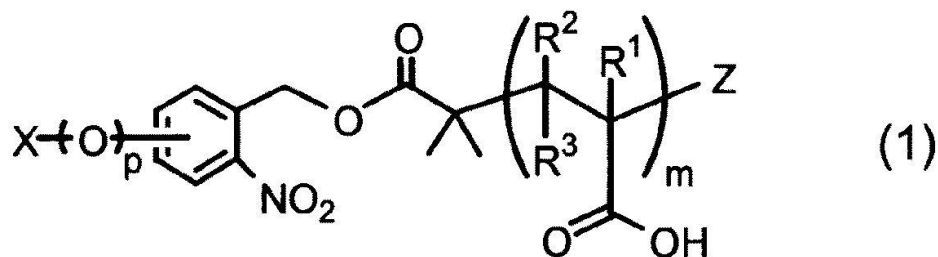


公開番号／特許登録番号	特許5557382
発明の名称	液晶性有機半導体ポリマー、その製造方法及び有機ナノポーラス材料
出願人または特許権者	国立大学法人 九州大学 リンテック株式会社

発明の内容（概要）

【課題】 有機FETなどの有機デバイスとしての用途に有用な有機ナノポーラス材料を作製し得るブロック共重合体を提供する。

【解決手段】 一般式（1）で表されるカルボン酸基含有重合体における任意の-COOH基に、特定の水酸基含有オリゴチオフェン誘導体をエステル化反応させてなるブロック共重合体単独、又は該ブロック共重合体と、下記一般式（1）で表されるカルボン酸基含有重合体とを含み、ブロック共重合体におけるオリゴチオフェン含有エステル基と、ブロック共重合体及びカルボン酸基含有重合体の合計中における全カルボン酸との割合が100：0～35超：65未満（モル比）であることを特徴とする液晶性有機半導体ポリマー。



本発明によれば、分子内に有機半導体部位と、親水性基を有すると共に、電磁波照射時に光開裂型開始機能をもつ基を含むポリマー部位とを有し、液晶性ミクロ相分離構造を形成し得る特定構造のブロック共重合体からなる液晶性有機半導体ポリマー組成物、その効果的な製造方法、前記液晶性有機半導体ポリマー組成物を用いて得られた、有機FETなどの有機デバイスとしての用途に有用な有機ナノポーラス材料、及びこの有機ナノポーラス材料を用いてなる有機FETを提供することができる。